

和歌山県教育功労者・優秀教職員知事感謝状受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に携わり献身的活動を続け、その功績が特に顕著である学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に感謝状を贈呈する。

おお おか
大 岡

いさお
功

和歌山市立加太中学校 他1校 学校薬剤師

《主な功績》 昭和60年から現在まで、学校薬剤師として長きにわたり、生徒の健康的で安全な学習環境作りに尽力し、学校における環境衛生の向上のため、諸検査の実施や専門的指導を行い、生徒の健康保持及び増進に貢献した。また、伝染病その他の疾患予防等に向け、健康相談及び保健指導を行うなど、学校薬剤師として学校保健に尽力した功績は多大である。

かわ さき ゆき ひこ
川 崎 行 彦

和歌山市立名草小学校 学校医

《主な功績》 昭和58年から現在まで、学校医として長きにわたり、定期健康診断、学校保健会に従事し、児童の健康管理に尽力した。また、和歌山市医師会学校医部会副会長や和歌山市医師会学校医部会評議員の役職を歴任し、学校医部会の運営に尽力するなど、和歌山市の学校保健に貢献した功績は多大である。

かな がわ りゅう いち
金 川 龍 一

海南市立内海小学校 他11校・園 学校医

《主な功績》 平成2年から現在まで、学校医として長きにわたり、子供たちの健康管理、健康の保持・増進のための検診及び指導助言を積極的に行うとともに、学校（園）・家庭・学校医が一体となった子供の健康づくりの推進に大きく貢献した。また、海南医師会副会長や会長等の役職を歴任し、海南市及び海草地方における学校保健活動の充実に尽力した功績は多大である。

むね る み こ
宗 留 美 子

海南市立北野上小学校 他2校・園 学校薬剤師

《主な功績》 平成8年から現在まで、学校薬剤師として長きにわたり、献身的・精力的に学校保健推進のための活動を行うとともに、児童の健康管理、健康の保持・増進に尽力した。また、学校保健委員会等において、学校へ積極的に指導助言をするとともに、海南市の学校保健教育の推進のため、学校保健会議等において建設的な発言を行うなど、学校保健活動の充実に貢献した功績は多大である。

やま した たか ゆき
山 下 隆 之

有田市立箕島小学校 他4校 学校医

《主な功績》 平成4年から現在まで、学校医として長きにわたり、定期健康診断や就学時検診等に従事し、児童生徒の健康管理及び健康教育に尽力した。また、有田市医師会理事や議長等の役職を歴任するとともに、各種委員会や研修会に積極的に参加し、児童生徒の健康管理のため学校への指導助言を行うなど、学校保健・健康教育の発展向上に貢献した功績は多大である。

り こう ていじろう
利 光 貞次郎

有田市立保田小学校 学校医

《主な功績》 平成10年から現在まで、学校医として長きにわたり、児童の健康維持とその向上や学校の環境改善に大きく貢献した。また、学校保健委員会等へ積極的に参加し、児童の健康管理のため学校への指導助言を行うなど、学校保健・健康教育の充実、発展向上に貢献した功績は多大である。

しお じ のぶ ひと
塩 路 信 人

御坊市立藤田小学校 他2園 学校医

《主な功績》 平成2年から現在まで、学校医として長きにわたり、子供たちの健康診断及び健康管理の指導助言を行い、児童生徒の健康保持とその向上に寄与した。また、日高医師会副会長や会長等の役職を歴任し、小児期から生活習慣病予防を進めるための健診及び改善指導の実施や、保健所管内全小中学校を対象に喫煙防止のための出前授業を行うなど、子供たちの健全な成長に取り組んだ功績は誠に顕著である。

なか しま しょう いち
中 島 彰 一

和歌山県立紀央館高等学校 学校医

《主な功績》 平成9年から現在まで、学校医として長きにわたり、生徒の健康診断、健康管理等に努めるとともに、必要な指導及び助言を行い、生徒の健康増進に尽力した。また、学校保健安全委員会の委員として、学校保健及び学校安全全般に関し、積極的に指導助言を行うとともに、学校に対して健康教育の重要性を説くなど、学校保健の向上に貢献した功績は多大である。

えの もと よし かず
榎 本 善 収

和歌山県立日高高等学校 他4校 学校医

《主な功績》 平成3年から現在まで、学校医として長きにわたり、卓越した専門的知識及び学校保健に対する見識を生かし、児童生徒の健康管理に尽力した。健康診断では一人一人丁寧な検診を実施し、保健指導において適切な助言を行い、学校における健康管理や健康教育の推進に貢献した功績は多大である。

むら かみ こう いち
村 上 浩 一

和歌山県立日高高等学校中津分校 他2校 学校医

《主な功績》 平成9年から現在まで、学校医として長きにわたり、健康診断等を通して、専門的知識及び学校保健に対する見識を生かし、児童生徒の保健衛生の向上に努めた。また、保健指導において教職員に対し適切な助言や指導を行い、学校における健康管理や健康教育の推進に尽力した功績は多大である。

やま ぐち みち お
山 口 道 夫

和歌山県立みくまの支援学校 学校医

《主な功績》 平成6年から現在まで、学校医として長きにわたり、児童生徒の健康管理や健康教育における必要な指導及び助言を献身的に行い、学校保健の充実に努めた。また、新宮市医師会理事を長年努め、新宮市の学校保健活動の充実に貢献した功績は多大である。

《社会教育部門》

長年にわたり、社会教育活動に携わり献身的活動を続け、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した功績が特に顕著である方々に感謝状を贈呈する。

●個人の部

にし だ かず よし
西 田 一 善

和歌山県ボウリング連盟 会長

《主な功績》 和歌山県ボウリング連盟の会長、副理事長等の役職を歴任し、第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）に向けて、選手の指導・育成に注力するとともに、会長として中央競技団体や行政との橋渡しを積極的に行い、紀の国わかやま国体でのボウリング競技を成功に導くなど、本県の天皇杯獲得に貢献した功績は大きい。また、継続した選手育成の結果、国民体育大会においてボウリング競技男女総合優勝及び女子総合優勝を果たすなど、本県における競技力向上やボウリングの普及・発展に大きく貢献した功績は多大である。

たに ぐち ひさ お
谷 口 久 雄

和歌山県柔道連盟 顧問

《主な功績》 昭和54年から和歌山県柔道連盟の会長、副会長等の役職を歴任し、県下柔道の普及・振興に尽力した。また、平成21年には会長に就任し、和歌山県柔道連盟の充実に努め、各種全国大会を本県に誘致するとともに、円滑な運営により成功に導いた功績は大きい。さらに、第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）に向けて、選手の強化育成に取り組んだ結果、成年男子2位、成年女子3位、少年女子5位及び柔道競技男女総合第3位の獲得を果たすなど、本県の天皇杯獲得に大きく貢献し、本県における柔道の普及・振興に尽力した功績は多大である。

たけ や ひろ み
竹 家 弘 美

和歌山市婦人団体連絡協議会 副会長

《主な功績》 平成20年に和歌山市婦人団体連絡協議会の書記に就任し、平成21年から会計として、平成29年からは副会長として、和歌山市婦人団体連絡協議会の各事業の実施、運営等に尽力した。また、和歌山市婦人団体連絡協議会の役員として、和歌山県婦人団体連絡協議会の各種研修会等にも積極的に参加し、地域での婦人会活動に生かすとともに、他都市の婦人会と交流を図り情報交換を行うことで婦人会活動に役立てるなど、和歌山市の社会教育の振興に尽力した功績は多大である。

くす
楠

とみ はる
富 晴

紀の川市社会教育委員会 委員長
和歌山県社会教育委員連絡協議会 副会長

《主な功績》 平成18年、紀の川市社会教育委員会委員に就任し、これからのまちづくりについて、「“学ぶ・結ぶ・育む”生涯学習のまち 紀の川市宣言についての提言」を作成するとともに、平成26年からは委員長として、生涯学習の推進に寄与した。また、地域参加のまちづくりを目標としてNPO法人紀州粉河まちづくり塾を立ち上げ、地域とのつながりの中で地域づくりに貢献するなど、紀の川市の社会教育の推進に尽力した功績は多大である。

●団体の部

いわくらしゅうえいほうほぞんかい
岩倉流泳法保存会

会長：南川 みながわ 泰秀 やすひで 所在地：和歌山市

《主な功績》 岩倉流泳法は、創始以来300年以上にわたり和歌山市を中心に受け継がれる紀州徳川家ゆかりの日本泳法であり、現在、日本水泳連盟が公認する日本泳法12流派の一つとして、和歌山県を代表する古武術の一つでもある。平泳ぎ・立ち泳ぎ・水入りを基本として、水中から飛び跳ねる「跳飛術」を伝えることを流儀の特徴として約40種の泳法の伝承に努めている。毎年夏には、和歌山市内のプールにおいて「和歌山水練学校」を開催し、幼児から80歳代までの会員が技芸の習得に励み、模範演技の公開を行う。このほか、日本泳法大会等のイベントにも積極的に参加し、泳法の研究・公開を通して本県の伝統文化の教育普及・地域振興にも大きく貢献している。このように、同保存会の活動を通じ、地域の子供から大人まで世代を超えて伝統ある「和歌山の泳ぎ」に参加することにより、地域文化の担い手づくりや、郷土愛の涵養、地域の歴史文化を学習する機会が保たれており、本県の伝統文化の向上と発展に貢献をしている功績は多大である。

《優秀教職員》

長年にわたり、本県学校教育の振興に貢献し、その功績が特に顕著である教職員の方々に感謝状を贈呈する。

なかしまつきこ
中嶋月子

田辺市立上芳養小学校 栄養教諭

《主な功績》 西牟婁地方学校栄養士研究会会長を務め、学校給食の献立作成や食育の実践的な指導の在り方等について、的確な助言を行うとともに、県教育委員会が主催する「食育研修講座」の講師を務めるなど、本県の食に関する指導の充実に大きく貢献している。地域住民の協力を得て地域の資源や施設を活用し、ジビエを教材に「命をつなぐ、無駄にしない、大切にする」という視点を取り入れた実習授業を行い、地域と学校が協力した取組の推進に寄与した。

すがやよしふみ
菅家良史

橋本市立紀見北中学校 教諭

《主な功績》 理科の授業実践において、生徒の興味・関心や探究心を高めるため、日々、教材研究や教材開発に取り組むとともに、初任者の校内指導員も務め、生徒との関わり方を含め、実践的で的確な指導助言を行うなど、後進の育成に貢献した。平成19年度教職員等中央研修中堅教員研修及び平成23年度キャリア教育指導者養成研修に参加し、自己研鑽を行っている。また、平成29年度には、近畿中学校道徳教育研究大会において公開授業を行い、道徳教育の推進に寄与した。

まつもとともこ
松本知子

日高川町立美山中学校 栄養教諭

《主な功績》 「食のスペシャリスト」として、日高川町内の学校栄養士のリーダー的役割を担い、郷土の食材の素晴らしさを地域の方と共に児童生徒に伝える取組などを通じて、児童生徒の食への意識を向上させるとともに、家庭にも多大な好影響を与えた。様々な研修等において実践発表を行ったり講師を務めたりするなど、自身の経験や取組の成果を広く普及し、本県の食育推進に大きく寄与した。

なか ざと なが ひろ
仲 里 長 浩

県立有田中央高等学校 教諭

《主な功績》 学位（博士）に基づいた農業に関する高い専門性を有し、「地域社会の中核を担う若者を育てる」という学校ミッションのもと、有田地域の特産品を教材とする実践に取り組み、地域の農業を志す生徒の育成に貢献した。農業クラブ活動として、校内模擬カンパニー「アグリ☆スマイル」の設立に大きく貢献し、栽培だけでなく、商品開発、販売を行う体験的な学習活動を実践し、農業の6次産業化における学習の充実化を図り、生徒の学習意欲向上に寄与した。

しら い ひろ こ
白 井 博 子

県立紀北支援学校 教諭

《主な功績》 自閉症教育の7つのキーポイントを指標とした授業づくりや障害の特性に応じた支援及び子供の学びを促進するための教材開発に努め、その実践的な研究・提案から知的発達に遅れを伴う自閉症の子供への学習指導向上に貢献した。研究者・学識経験者等の外部助言者と連携した全職員参加型の校内授業研究協議会を企画・運営し、その成果を共有するシステムを構築するなど、特別支援学校における学習指導の専門性を組織的に向上させる取組を推進した。

和歌山県教育委員会功労賞受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に積極的に取り組み、学校保健向上に尽力した学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に表彰状を授与する。

た むら
田 村

まなぶ
学

和歌山市立西和佐小学校 学校医

《主な功績》 平成7年4月から現在に至るまで、学校医として定期健康診断等に従事し、学校保健会を通じ児童の健康管理に尽力した。また、平成8年4月からは和歌山市医師会学校医部会評議員を務め、学校医部会員として講演会等に積極的に参加し、学校医として日々研鑽するなど学校保健に尽力した功績は誠に顕著である。

まえ だ より
前 田 順

あき
昭

和歌山市立山東小学校 学校歯科医

《主な功績》 平成6年4月から現在に至るまで、学校歯科医として定期健康診断に従事し、一人ひとり児童の状況に応じて親切・丁寧に対応し、学校保健委員会では出席した6年生からの質問等に丁寧で適切なアドバイスをするなど学校保健の向上に努めた。また、和歌山市歯科医師会の理事、常務理事等の役職を歴任し、和歌山市の学校保健活動の充実に貢献した功績は誠に顕著である。

おお うら
大 浦

ただし
正

有田市立糸我小学校 学校歯科医

《主な功績》 平成14年4月から現在に至るまで、学校歯科医として学校保健の充実に熱意を持って取り組み、常に児童の口腔内の健康管理、指導に努めた。また、教職員等とも連携し、歯・口の健康づくりを推進するなど学校保健行政にも積極的に取り組み、学校保健及び健康教育の進展に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

もり もと
森 本

ひいづ
秀

有田市立保田中学校 学校歯科医

《主な功績》 平成8年4月から現在に至るまで、学校歯科医として定期健康診断や就学時検診等に従事し、児童生徒の健康管理及び健康教育に尽力した。また、各種委員会や研修会に積極的に参加し、児童生徒の健康管理のため、学校への指導助言を行うなど、学校保健・健康教育の発展向上に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

いけ だ あき ひこ
池 田 明 彦

御坊市立御坊小学校 他2園 学校医

《主な功績》 平成3年4月から現在に至るまで、学校医として高い専門性を備え、御坊市内の児童及び園児の定期健康診査や予防接種業務に従事するとともに学校（園）内の健康・安全管理の充実や保健衛生観念向上に尽力した。また、医師会事業として実施された児童の生活習慣病予防検診や学校における喫煙防止出前授業にも積極的に参画し、検診や事後措置を通じ健康増進と生活習慣との重要な関係について啓発するなど、学校保健及び学校安全活動推進に寄与した功績は誠に顕著である。

はざま よし み
裕 好 巳

上富田町立岩田小学校 他1校 学校薬剤師

《主な功績》 平成元年4月から現在に至るまで、学校薬剤師として教職員の健康的で安全な学習環境作りに尽力し、学校環境衛生向上のため諸検査の実施、その結果に基づく指導・助言を行い、児童の健康に対する学習能力向上に寄与した。また、感染症その他の疾患予防に向け、健康指導及び保健指導に従事した功績は顕著である。

《社会教育部門》

社会教育活動を継続して行い、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した方々に表彰状を授与する。

●個人の部

むね
宗

ひで
秀

あき
昭

海南市北野上公民館長

《主な功績》 平成20年4月1日から2年間にわたり海南市中央公民館長を務め、平成23年4月1日からは海南市北野上公民館長として、地域住民の要望や課題を踏まえた事業や講座等の企画運営に携わり、主事とともに館の育成発展に日々精進した。また、北野上公民館では地域の約20団体からなる「ななさとコミュニティ協議会」の活動拠点となり、ふるさとを大切にすることを目標とした、あいさつ運動やハイキング大会を実施するなど、館長として公民館と地域住民、団体、地域の小学校などをつなぐ重要な中心的役割を担い、地域の連携・協働に尽力した功績は顕著である。

きの
木

した
下

しゅう
修

いち
一

御坊市社会教育委員 他

《主な功績》 平成16年から18年間、御坊市社会教育委員及び御坊市公民館運営審議会委員に就任し、人権教育や子供の育成活動、伝統行事の振興など幅広い分野において活躍した。また、御坊市の社会教育に関する計画・事業や公民館のあり方や運営の方向性について、教育委員会、公民館に助言するとともに、人権教育や生涯学習など幅広い分野において地域のキーパーソンとして尽力するなど、地域の生涯学習の振興に寄与するとともに社会教育全般の発展に大きく貢献した功績は顕著である。

た
田

ばた
端

まゆみ
眞由美

美浜町社会教育委員 他

《主な功績》 平成元年6月から美浜町社会教育委員として、親と子の育成活動、人権教育や生涯学習など長期にわたり、幅広い分野で地域の中心人物として活躍し、美浜町の社会教育に関する計画・事業や公民館の運営の方向性について、教育委員会及び公民館に助言するなど、社会教育の推進及び青少年への健全育成に貢献した功績は誠に顕著である。平成12年11月から松洋中学校心の教室相談員、平成13年4月から美浜町教育相談員として、子供と保護者の悩み相談・話し相手、また地域と学校の連携支援、教育活動支援に貢献し、地域に根ざした活動に尽力した功績は誠に顕著である。

うえ の とみ はる
上 野 富 治

和歌山県バレーボール協会 副会長

《主な功績》 和歌山県バレーボール協会の理事長・副会長として、本協会の運営や選手育成・普及発展に尽力し、2013年全国スポーツ少年団交流大会の開催地役員、2015年紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会バレーボール競技の開催地責任者として、大会の成功に大いに貢献した。そして、2027年に和歌山市で開催予定であるワールドマスターズゲームズ関西「バレーボール競技」の担当者として、大会開催に向け尽力している。また、公認スポーツ指導員の養成講習会を積極的に開催し、指導者の育成に尽力するとともに、スポーツ少年団バレーボール専門部長としても、長きにわたり小学生のバレーボール競技の普及・発展に貢献するなど、バレーボールを通じた青少年の健全育成や競技力の向上に寄与した功績は誠に顕著である。

●団体の部

くまのほんぐうたいしゃしんじほぞんかい
熊野本宮大社神事保存会

く き いえたか
代表：九鬼 家隆 所在地：田辺市

《主な功績》 熊野本宮大社の「湯登神事・御田祭（ゆのぼりしんじ・おんださい）」は、地域の安泰と当年の豊作を祈る本宮地域最大の祭礼として親しまれてきた。4月15日に行われる御田祭に先だち、13日には精進潔斎の儀礼として熊野十二所権現の使いとされる12人の稚児が出る「湯登神事」が行われる。稚児は、神事の道中は神聖な存在として地に足を付けることが許されず、肩車をされて渡ることとなっており、各拝所で「八撥（やさばき）の舞」を奉納する。「御田祭」は、神輿渡御の行列が町中を練り歩き、旧社地である大斎原（おおゆのはら）で鋤持ち・杵（えぶり）持ち・苗持ちの男児と晴着に花笠を被った早乙女の女兒たちが、時計回りに「神田」を三周して最後に「神田」に苗やサカキを投げ入れて豊作を祈る御田植神事を行う。「御竈木神事」は、熊野本宮大社のある田辺市本宮町本宮地区に生まれた0歳から15歳までの氏子の男子が、毎年12月10日の早朝に「ヒギ」と呼ばれる小さな白い薪束一荷を担い、本宮大社へ奉納する行事である。このように、当該神事・行事は子供が大きな役割を担っているが、少子化が大きな課題となっている当該地域において、担い手の確保は容易ではない。保持団体である熊野本宮大社神事保存会は50年以上にわたって、地元小学校と連携して、地域の子供の参加を支援しており、当該神事・行事の保存・継承に重要な役割を果たしている。また、地域の子供の参加支援は歴史文化に触れ、ふるさとへの愛着と誇りを醸成する貴重な機会であり、その意味でも当該団体が貢献した功績は誠に顕著である。

《教育行政部門》

本県教育の向上に努め、地域と連携した教育の推進に貢献した市町村の教育長及び教育委員の方々に表彰状を授与する。

つゆ みね あき のぶ
露 峯 明 信 海南市教育委員会 委員

《主な功績》 平成21年5月から海南市教育委員会委員として、これまで委員長職務代行者、委員長、教育長職務代理者を歴任し、卓越した見識と豊富な経験を生かし、教育大綱の制定や学校の適正配置等、教育行政に関する重要な事項について意見や提言を行うなど海南市の教育の推進に寄与した。また、定期的に学校訪問を行うことで学校現場の現状把握に努め、課題等を教育委員会議において取り上げ、教育の振興・発展に尽力した功績は誠に顕著である。

かわ むら えい じ
川 村 栄 司 海南市教育委員会 委員

《主な功績》 平成23年5月から海南市教育委員会委員として、卓越した見識と豊富な経験を生かし、教育大綱の制定や学校の適正配置等、教育行政に関する重要な事項について意見や提言を行うなど海南市の教育の振興に尽力している。また、陸上競技指導の現場に携わることで把握した教育的課題を、教育委員会議で取り上げ、教育の振興・発展に貢献した功績は誠に顕著である。

くり やま ひろ こ
栗 山 博 子 元 有田市教育委員会 委員

《主な功績》 平成23年7月から有田市教育委員会委員として、これまで地域活動連絡協議会会長として地域の子供たちの健全育成に取り組んだ経験を生かし、教師の資質の向上や通学路の安全確保など教育環境の整備の推進に尽力した。学校規模の適正化については、学校規模適正化検討委員会委員、統合準備委員会委員として、有田市内4中学校を1校に統合し、新たな中学校を令和6年4月に開校に向け尽力した。また、市民会館や市立図書館の新築による教育文化環境の充実、運動型健康推進総合施設の建設による市民の健康増進に尽力するなど、学校教育・社会教育の発展に貢献した功績は誠に顕著である。

た なか
田 中

あゆむ
歩

広川町教育委員会 委員

《主な功績》 平成20年12月から広川町教育委員会委員として、学校及び社会教育施設や社会体育施設の修繕や耐震整備等の推進を図るとともに、広川町歴史的風致維持向上計画、防災遺産「百世の安堵」の日本遺産認定にも尽力した。また、「子ども達の教育は家庭から」を合い言葉に、地域・家庭・学校が一体となり社会全体で子供を見守り育てていく教育を進めるとともに、各地区の公民館、集会所の改築など、区内の子供たちの教育向上並びに婦人会活動の拠点作りに尽力し、町民に根付かせた功績は誠に顕著である。

よし だ たか いち
吉 田 隆 一

日高町教育委員会 委員

《主な功績》 平成21年9月から日高町教育委員会委員として、和歌山県職員時代に培った広い見識と豊富な経験を生かし、約6年間を教育長職務代理者として卓越した指導力を発揮し、教育委員会の運営に寄与した。また、町内各学校の空調設備の整備、大規模改修工事及び公民館改修工事の推進など学校教育、社会教育の両面で教育委員として本町の教育環境設備の改善に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

きのくに教育賞受賞者

本県学校教育において、特に優れた教育実践を行い成果を上げていると認められる教職員の方々に表彰状を授与する。

《幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む。）の部》

かわもと
川 本 かおり 海南市立亀川幼稚園 教諭

《主な功績》 平成10年度から2年間、県教育委員会指定幼稚園教育研究園として、子供の遊びに焦点を当てて子供の実態に合わせて環境を整え、子供が自由に好きな遊びをする異年齢保育を通じて心身の調和がとれた発達の基礎を培った。また、様々な人との関わりの中で、主体的に行動できる力や思いやりを育成する保育について提案発表を行い、研究成果の普及に努めた。

平成23・28年度に、海南市教育委員会より課題別教育研究園の指定を受け、子供一人一人の良さが生かされる学級づくりや、子供を自立へと導き、子供同士のつながりを持たせるための具体的な手立てについて実践発表を行うなど、研究成果を継続して発信し、幼児教育の充実に寄与した。

「養護」と「教育」の双方から保育の質の向上を目指し、前任園では園内研修を企画・実践して職員同士の連携強化を図るとともに、海南市立幼稚園教育研究会において、会員である幼稚園教諭と共に研究を深める組織づくりに貢献した。

平成30年度に和歌山県公立幼稚園教育研究会の指定を受けて研究・実践を積み重ねるなど、長年に渡って幼保一体化の保育を牽引している。また、子供の発達の段階を踏まえた優れた幼児理解により、教職員や保護者からの信頼も厚い。

《小学校の部》

てら だ
寺 田

このみ
好

紀の川市立粉河小学校 教諭

《主な功績》

小学校英語専科指導教員としての高い専門性を生かし、児童が目的意識や相手意識を持って言語活動を行う場面を効果的に設定するなど、児童の学習意欲を引き出す単元構想や、どの児童も楽しみながら英語に親しむことができる教材開発や授業づくりを行っている。

日々熱意を持って自己研鑽に努める姿や、児童や教員とのコミュニケーションを大切にしながら教育活動を広げていく実践力は、他の教員の模範であり、信頼も厚い。

令和3年度、県主催の小学校英語専科指導教員を活用した地方別外国語教育研修において、ICTを効果的に活用し、教科横断的な視点を取り入れて、「和歌山県の食材を使った給食の献立」を児童が提案する授業を行った。また、その研究成果を普及することで、小学校外国語教育における教員の授業力向上に寄与した。

那賀地方英語教育研究会（小学校部会）を立ち上げ、情報共有や授業研究の場を構築するとともに、小・中連携を図るなど、小学校外国語教育推進の中心的な役割を担っている。

そう がわ とも み
寒 川 智 美

古座川町立高池小学校 教諭

《主な功績》

きめ細やかな教材分析や教材研究により、児童を惹きつける単元構成及び興味・関心を高める工夫を行うとともに、複式教育の実践で培った、児童が主体となって取り組む授業を実践することで、確かな学力の育成・定着に尽力している。

研究主任として校内研究授業を率先して行い、「聴く力の向上」「発信する力の向上」をテーマにした授業づくりや学級づくりの研究を推進している。また、日々自己研鑽に励む姿や、児童一人一人を認め、意欲を引き出す声かけやノート指導には定評があり、若手教員の模範となっている。

東牟婁地方へき地複式教育研究会での国語科の研究授業において、「自ら学ぶ意欲をもち、主体的に活動する児童の育成」について提案・研究発表を行うなど、当該地方のへき地複式教育の充実・発展に寄与している。

平成28年度「へき地複式教育」及び令和元年度「国語科」の県指導委員を務め、これまでの実践を項目ごとにまとめた資料を活用し、複式授業における間接指導時の留意点等について指導助言を行うなど、教員の授業力向上に貢献した。

《主な功績》 平成28・29年度、和歌山市立教育研究所の研究所員として、「ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり、環境づくりについての研究」をテーマに研究を重ねるとともに、その研究成果を生かした学級経営や授業づくりを実践している。

国語科を中心に、言葉が持つ良さを意識しながら、相手、目的や意図、場面や状況などに応じた言語感覚を養わせる指導を行うとともに、児童が自信を持って考えや思いを表現し、共に学び合う活動を取り入れ、児童の言語能力向上に尽力している。また、児童一人一人の状況を丁寧に把握し、支援するため、保護者からの信頼も厚い。

日々自己研鑽に励み、平成30年度全日本音楽教育研究会全国大会和歌山大会小学校部会において、実践発表を行い、実践の成果を広く普及した。また、和歌山市小学校音楽教育研究会器楽領域委員会委員長を務め、音楽科の授業づくりを通して、教員同士による教材開発の土壌づくりや若手教員への指導助言を行うことで、当該地方の教員の授業力向上に寄与している。

学級経営に留まらず、学年で統一した学級経営計画を綿密に立て、円滑な学年経営を行うため、他の教員からの信望も厚い。また、他校からの依頼を受け、示範授業や指導助言を行うなど、学校の枠を越えた教員の指導力向上に貢献している。

《中学校の部》

い たに ゆ み
井 谷 有 美

田辺市立東陽中学校 教諭

《主な功績》 美術科の高い専門性を生かした指導により、生徒の持っている能力を最大限に引き出している。また、前任校では、全国レベルの各種コンクールにおいて数々の受賞に導くなど、当該地方の美術教育の中心的役割を担っている。

第69回和歌山県図工・美術教育研究大会において、地域の美術館と連携し、抽象画の鑑賞を題材とした公開授業を行い、当該地方のみならず、県全体の美術教育の発展に貢献している。

長きに渡って特別支援教育に携わり、今年度は、特別支援学級の主任として特別支援教育の充実に尽力するとともに、第73回造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会和歌山大会において、「特別支援学級における創造活動～東陽のバラを描こう～」というテーマでの提案発表を行うなど、実践の成果の普及に努めている。

現任校で顧問を務める文芸部では、生徒一人一人にきめ細やかな指導を行うため、生徒は芸術の楽しさを味わいながら、個性を生かした作品を数多く制作している。また、多くの生徒作品がコンクールで受賞し、部員たちの次への意欲と大きな自信につながっている。

《高等学校・特別支援学校の部》

ふじ い か よ
藤 井 佳 世

和歌山県立橋本高等学校 教諭

《主な功績》 国語科の指導にあたって、長年に渡り、生徒の能動的な言語活動を促進するために、協働的な学びを取り入れた授業を実践している。また、生徒の理解を深め、表現力向上に資するために、ICTを活用した授業改善に取り組んでいる。このような日々真摯に取り組む姿勢は、他の教員の模範となっている。

PISA型読解力向上を目指した研究授業や第4回和歌山教育実践研究大会における言語活動についての研究発表等、自身の実践について発表を行った。現在は、県国語教育研究会の副会長を務めており、本県の国語教育の充実・発展に大きく寄与している。

個別最適な学びの促進と学習習慣の確立のためオンライン教材を導入する際、中心的な役割を果たし、校内における具体的な活用方法を提案するなど、積極的に推進している。令和4年度から取り組んでいる国の研究指定事業「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」を主導し、ミドルリーダーとして管理職と教職員をつなぐ役割を担いながら、学校の教育活動を牽引している。

顧問を務める放送部では、高い指導力を発揮して、9年連続の全国大会出場に貢献し、全国高等学校総合文化祭和歌山大会放送部門においても、生徒を優勝・入賞に導いた。また、同部の交通安全イベントへの参加や地元ラジオ局「FM橋本」での番組作成等を指導するなど、地域との交流にも精力的に取り組んでいる。

さか もと しゅう いち
坂 本 修 一

和歌山県立向陽高等学校 教諭

《主な功績》 平成18年度からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定されている同校において、第Ⅲ期（平成29年度～令和3年度）のSSH推進部長として推進の中核を務めた。特に、理科や数学に限らず様々な教科が連携し、全校生徒を対象とした取組に内容を拡大したことで、学校全体で取り組もうとする機運が高まり、生徒の主体性や学習意欲を向上させ、協働して学ぶ力の伸長につながった。

県内外の大学や研究所等の外部機関との連携を深め、研究所ツアーや実験講座、大学教授等から直接課題研究への助言を受ける機会の創出等、生徒の学ぶ意欲や創造性を向上させる取組を継続的に実施した。

課題研究や科学系部活動の研究成果について、生徒を各種コンテスト等へ積極的に参加させ、科学の甲子園等、様々な全国レベルの大会への出場や入賞に導いた。これらの功績は、生徒の高度な研究内容を全国にアピールするとともに、より高みを目指して切磋琢磨するような意識付けにもつながっている。

長年にわたり、生徒とともに「青少年のための科学の祭典」へ出展する活動を行っており、小・中学生等が幅広く科学に親しみ、興味・関心を高められるよう尽力している。

え
恵

な
納

たかし
崇

和歌山県立神島高等学校 教諭

《主な功績》

写真部顧問として、西牟婁振興局からの依頼による熊野古道大辺路のパンフレット作成、地元企業であるアドベンチャーワールドや三段壁との共同イベントの企画・立案、和歌山大学と連携した田辺祭の取材活動等、地域と連携した活動を積極的に取り入れ、生徒のコミュニケーション能力や伝達・発信力の向上、地域への愛着を育んでいる。

同校写真部は、すさみ町での写真展等、地域の過疎化の現状や地域おこしに視点をあてた活動にも積極的に取り組んでいる。写真を通して、地域の課題に対して当事者意識を持たせ、高校生の立場で地域のためにできることを考える視点を与えるとともに、実践につなげようとする意欲の醸成に努めている。

専門的な知見に基づいた部活動の指導を行い、生徒一人一人の能力や感覚を最大限に引き出し、これまで全国高等学校写真選手権3連覇（平成29年度～令和元年度）、ニコントップアイ年度賞最優秀賞4回受賞（平成27年度、平成29年度～令和元年度）等に導いた。

全日本写真連盟和歌山県本部高校生写真コンテストにおいて、平成22年度から審査員を務め、審査・講評を通して県の写真に関わる高校生の技術・意欲の向上に貢献している。

くろ
黒

え
江

じゅん
純

こ
子

和歌山県立紀伊コスモス支援学校 教諭

《主な功績》

重度肢体不自由児における意思伝達の向上を目指した指導の在り方等、ICT活用の可能性を探る教育実践や大学機関との連携による研究活動に尽力し、本県肢体不自由教育の充実に寄与している。

県教育委員会作成「肢体不自由教育ハンドブック」の前身となる、同校独自の「肢体不自由教育部門対応マニュアル」の作成にあたり、チーフとして構想や取りまとめに尽力するとともに、マニュアル作成の成果を日本肢体不自由教育研究会機関誌に寄稿するなど広く発信し、同僚教員や若手教員の指導力の向上に貢献している。

特別支援学校のセンター的機能発揮に向けて要となる、支援教育部長及び特別支援教育コーディネーターの役職を担い、地域の小・中・高等学校等からの要請による、巡回相談等への組織的な対応や効果的な研修会等の企画・運営等、本県特別支援教育の推進に尽力している。

校内においても、児童生徒の実態把握や指導・支援方法等、ベテラン教員から若手教員まで、個々の教員の経験や実践に応じた助言に努めており、教員からの信頼も厚い。

《主な功績》

10年以上に渡り、はまゆう支援学校の特別支援教育コーディネーターとして、みなべ、田辺・西牟婁地域における障害のある幼児児童生徒やその保護者の教育相談、子供の実態把握や学習指導・自立活動に係る助言等の活動に尽力している。また、同校主催の夏季研修会では、近隣高等学校の特別支援教育コーディネーターと連携するなど、地域の特別支援教育の充実に寄与している。

県教育委員会主催の研修会をはじめ、校区内の各市町教育委員会からの要請による特別支援教育研修等で講師を数多く務めるなど、教育行政分野における特別支援教育の理解啓発活動に大きく貢献しており、地域からの信頼も厚い。

障害者総合支援法に基づき地方自治体を中心となって組織している西牟婁圏域自立支援協議会においては、企画・運営への参画等、福祉分野との連携にも積極的に取り組み、同地域の教育と福祉の連携強化に寄与している。

同校と南紀支援学校との統合後のセンター的機能の在り方についての提言や若手教員の育成にも積極的に関与しており、学校組織力の向上や教員の専門性の向上に力を注いでいる。

きのくに教育の匠受賞者

きのくに教育受賞者のうち、特に継続的な実践で成果を上げ、かつ、他の教員の指導力向上に寄与した方に対して称号を与える。

《中学校の部》

みず なみ よし こ
水 波 佳 子

和歌山市立西和中学校 教諭

《主な功績》 生徒を中心に据えた指導方法を取り入れ、学び合いの授業づくりを行っている。ICT機器を活用して映像やイラストを使った視覚支援、スモールステップでの授業進行など、常に生徒一人一人を大切にしたり、きめ細やかで丁寧な指導は若手教員の模範となっている。

授業では、全ての指示や発問を簡単な英語表現で行うことによって生徒の聞く力を高めるとともに、自分の考えを英語で書く活動や即興的な会話練習などの学習活動を毎時間取り入れ、生徒の表現力向上に寄与している。

文部科学省により認証された本県の英語教育推進リーダーとして、第1期和歌山県中学校・特別支援学校中学部英語科教員指導力・英語力向上研修の研修講師を務めることにより、県内の英語教員の指導力向上に貢献した。

和歌山市中学校英語教育研究会の事務局として、自身が積み上げてきた教育技術を生かし、若手教員の育成につながる主体的・対話的な授業実践や研究成果を発信するなど、当該地方の英語教育の充実・発展に尽力している。

な す あきら
那 須 明

田辺市立高雄中学校 教諭

《主な功績》 音楽の高い専門性を生かし、音の重なり方を理解するためにボディパーカッションを取り入れ、リズムや構成を意識しながら音楽づくりに取り組むなど、生徒の興味関心を高める授業を実践している。

音楽科の指導において、作曲活動に特に重点を置いた指導を行い、令和3年度には、和歌山県小中学生作曲コンクールに出品し、優良7作品、佳作14作品という功績を残している。また、優秀作品に生徒が作詞し、卒業式で斉唱するなど、生徒の意欲をつなげる活動を展開した。

継続して顧問を務めるブラスバンド部を、県代表として関西吹奏楽コンクールの出場に導き、令和3・4年度和歌山県吹奏楽コンクール金賞、令和3年度和歌山県アンサンブルコンテストにおいて管楽8重奏の金賞を受賞するなど、吹奏楽における高い指導力を発揮しており、生徒や保護者からの信望も厚い。

田辺エキストラ商店街（tanabe en+）と題した、地域活性化に向けた商店街の取組に参加し、生徒と地域を結びつける活動を展開した。また、地域の小学校へ出向いて演奏会を行うなど、音楽を通して人と人をつなぐ活動に尽力し、その功績は多大である。

《高等学校・特別支援学校の部》

かとうのりひさ
加藤統久

和歌山県立橋本高等学校 教諭

《主な功績》 文部科学省により認証された本県の英語教育推進リーダーとして、県教育委員会が主催する英語教員を対象とした研修において講師を務め、本県英語教育の推進に大きく貢献した。また、近畿地区英語・国際関係科等設置高等学校長会研究協議会で、スピーキング力等の発信力の育成について実践発表を行うなど英語教育の向上に寄与している。

初任者研修対象教員や県内外の英語科教員に積極的に授業を公開し、多くの示唆を与えている。

文部科学省委託事業「英語教育推進リーダー中央研修」やアメリカ大使館主催「日本人英語教員のための冬季集中セミナー」、「日本人英語教員のためのアドバンスト・セミナー」等を受講し、その内容を講師として県内英語教員に伝え、本県の指導力向上に努めた。

アジア・オセアニア高校生フォーラム等において運営の中心となるなど、国際的な行事に積極的に貢献している。同校生徒の全国高校生英語ディベート大会出場に導いた。

たにぐちかずひさ
谷口和久

和歌山県立南部高等学校 教諭

《主な功績》 主として果樹を担当し、教科指導及び圃場管理等について専門性を生かした指導を行うなど、長年にわたり農業教育一筋に取り組んできた。特に、ブランド「南高梅」の誕生に深く関わりのある学校として、学校設定科目「ウメ」が設定された平成12年度当初から科目担当として長く携わるなど、地元特産の一つである「梅」栽培を中心に農業教育の推進に寄与している。

平成28年度以降、新学科「食と農園科」改編の中心的役割を担い、農業科及び家庭科の教員をまとめて、カリキュラムの編成や新実習棟の整備計画、具体的な学科運営などにおいてリーダーシップを発揮した。また、和歌山県農業教育研究会事務局担当として、県内農業の発展に貢献をしている。

同校の「梅」生産に係る「JGAP（農業生産工程管理）」認証取得に向け、生徒とともに中心的な役割を果たし、令和元年5月に認証取得に至るなど、地域の特産物である梅のさらなる普及に努め、地域活性化のため大きく貢献している。

地域のイベントへの農産物や加工品の出品を積極的に行うことや、外部講師を招聘した実技講習を定例化させるなど、同校の農業教育を地域社会に発信する取組を推進している。

- 《主な功績》 病弱特別支援学校において、心身症等の児童生徒に対して、児童生徒と教員の良好な関係性をベースにした「提案・交渉型アプローチ」の実践に率先して取り組んでいる。取組を通じて、児童生徒の自己理解、自尊感情の回復や課題を解決する力等を豊かに育てている。
- 校内での実践を整理・分析し、県外（第57回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会平成28年度・分科会）や県内の各種研究発表会等で発表を行い、研究協議会等で得られた知見を広く校内へ還元することで、病弱教育に係る専門性向上に大きく寄与している。
- 令和2年度から地域における小・中学校等の教育相談や特別支援教育研修会の講師を多く務める。令和4年度より本校特別支援教育コーディネーターとして特別支援学校のセンター的機能の推進、充実に要として活躍している。
- 文献研究、レポート執筆等といった自己研鑽を怠らず、授業改善にも熱心に取り組んでいる。校内研修を企画・運営し、若手・中堅教員の病弱教育の専門性向上に寄与している。